

# 事務局

青森市町会連合会事務局発行

第49号  
55.3

## ○役員研修会

町内会のあり方に関する諸問題  
副テーマ

- (1) 本会と単位町会との効果的コミュニケーションについて
- (2) 地居社協と地区連合体の機能について
- (3) 町内における諸公害の発生と町会長の立場について

講師 弘前大学助教授 佐藤三三氏

講師の講演約四十分後副テーマについて役員相互研修の形にした。

## 講演要旨

プリントにより各地のデータと解説  
町内会に期待するものは、住民として視座を一番強く要求しているが、実態として行政補助が多い。  
住民は行政によりすぎている。何をやるべきか、どんな考え方をしたらよいか。自主的創造的姿勢がほしい。  
町会自身からみた、住民より青森という発想が大切  
「生活」ということばの意味は、生命、生存、生計、人生、生涯の五項になるが、まとめると、生存、生計、人生の三項に要約できる。  
生涯豊かに住みよい健康施設があるが、そのため単位町会には何かできるか、連合体として何ができるか。  
単体町会と連合体とは平日同じでは困る。もっと創造的、多事業を発想する必要がある。  
町会に社協がどうも包かんされている。弘前市では町会長が動かなければ社協も動かない。町会連合会にはお金があるので、中央から講師をたのんで、研修会をやっている。  
なお、相互研修では、ゴミの不法投棄、業務局を広いところへ移動させよ、日赤募金、共同募金のこと。  
老人福祉は、飲ませ、見せるだけでなく、老人スポーツを通して生きがいをつける(さなほ)という意見。その他いろいろあったが副テーマの路線外れの意見ばかりで、テーマの追求を忘れた恰好。今后この種の研修会日、やり方を変える必要がありそうだ。

## ○役員選出改選は五月二十日迄に

新年度をむかえ、岩町会では役員選出、連合体では理事長の選出など予想されるが、町会長名簿作成は五月二十日を目途にしているから、二十日迄に完了(役員人事として)してください。連合体の理事のうち一名と、代表(会長)としてまとめておいてください。追って四月中にこちらから名簿作成資料の提出をお願いする予定ですので、お含みおきください。

伸	言
町	連



町会長は一般に未承より過去の長い、

人が多い。わが青春に悔いなき人達は、活躍した過去を語るとき自分は王と輝く。だが現実の話題になると、然話はぼろろになる。

A氏「おらほの町会よ、生活扶助がよるもあるんだじや。」  
B氏「どしてそれほど多いんだべ。」

A氏「まへの民生委員がどんどぶやしたのせ。生活扶助たって朝まからスズゴまくらって、毛の長いじゅうたんしいで、壁の中、ステレオの電気製品だらけや。おら連よりよっぽどいい生活しているし、おかしくねが。事情わからねば、何ともいわれねけどな。しかし、その民生委員は推せんしたのはあれたべ。」

A氏「したたて、その時の町会が自分と民生委員にした。ど、どうもほんねではし。」  
B氏「うん、こんだの時考えへしや。」

町民B氏「毎月町会費払ってんだけど、何と支出しているか、よりの電話。さっぱりわかりません。どうなっているんですか。」  
A氏「それは、あなただの町会長へさいてください。」  
B氏「総会へ出ればわかることですよ。」

B氏「総会行ってひらいたことありませんよ。」  
A氏「総会なくて、会計も監事もある若、予算決算の文書は皆さんに配布してらっしゃいますよ。」

B氏「収支決算書はなんてもらったことありませんよ。」  
A氏「それはあなただの町内の問題で、改善するしないは町民であるあなた達自身の意識の問題だと思いたす。」

予算も無ければ、決算も無シ。会計も無ければ、監査も無シ。総会も無ければ、ヤマトクも無シ。では、全く六無、皆町会だネシ。  
連合体と町会、町会と町民、いづれも情報不足は誤解のもと、経費の許可限り情報提供につとめたいものである。

## 弔

二月中に夜見の国へ旅立たれた方

故 向野沢町会長 新山末次郎殿 (六十九才)  
葬儀 二月八日 於集会所 岩谷参列

故 沖館町四町会長 岩瀬徳一殿 (六十九才)  
葬儀 二月十五日 於正覚寺 黒田参列

本会より規定により弔詞、香典、花輪を贈る。

長い間の地域活動は人とうに、苦勞さんでした。心から二人のご冥福をお祈りします。

定時総会(五十五年度)は四月二十五日に決る。